

< Vol.24 の記事 >

ジュニアユース新人戦 惜しくも2次リーグ進出ならず！ ユース 7日間で10試合！！ 他

【ジュニアユース新人戦結果報告】

ジュニアユース新人戦が行われ、浦和SC JYは以下のような戦績となりました。

2勝2敗でグループ3位となり、2次リーグ進出を惜しくも逃しました。

(一次リーグ結果)

12月8日	プリメイロ	3 - 0	浦和SC
12月14日	FC日高	0 - 8	浦和SC
12月22日	狭山FC	11 - 0	浦和SC
12月23日	FEZNTZ	0 - 3	浦和SC

今大会は1年生4人を含む、11人ちょうどの人数での厳しい戦いとなりました。さらに、おりからのインフルエンザ渦に見舞われ、2戦目、3戦目はそれぞれ、渡辺、白鳥という攻守の主力を欠き10人の戦いも余儀無くされる中、県ランキングトップの狭山にこそ雨あがりの最悪のグランドコンディションのなか大敗を喫しましたが、同様にランキング上位チームのプリメイロとは惜しい試合を演じ、その他のチームからは確実に得点をあげるなど、メンバー全員の頑張りが感じられた大会となりました。

今後も楽しく、厳しく(?)練習に取り組み、いっそうの飛躍を期待したいと思います。

【ジュニアユース谷田部コーチ 惜別!】

昨年より主にジュニアユースコーチとして、私事を投げ出しているかのように、JYのメンバーにつきあってくださっていた谷田部コーチが、学業の都合により、12月いっぱい退任されることになりました。

少々どころではない雨でも、試合の後でも、メンバーが練習をやりたいといえば、嫌な顔一つせずに、とことんつきあってくれ、時には厳しい兄貴分として、持ち前の明るいキャラクターによりJYを盛り上げてくださっていただけに、とても残念なところです。

お住まいは旧浦和市内と遠くありませんので、い

つの日か来られる状況になった時には、成長した姿を見せられるようJYの面々のみならずクラブとしても頑張っているところを見せたいと思います。

谷田部コーチも、健康に気をつけて、頑張ってください。一年間本当にありがとうございました。

【ユース 7日間で10試合! 地獄の連戦?!】

これまで、練習試合などがあまり組めずに申しわけない状況にありましたが、突然7日間で10試合という鬼のような連戦週間を迎えることになりました。

23日(祝)	vs 東浦和FC
	vs 本太FC & 本太ユース
25日(水)	vs 浦和工業
26日~29日	飯能サッカーフェスティバル参加
26日(木)	vs 飯能ブルーダーユース(4-1)
	vs 飯能南高校(1-0)
27日(金)	vs アジアFCユース(8-0)
	vs 西部文理高校(2-0)
28日(土)	vs 伊勢崎商業(1-1)
	vs 札幌山の手高校(2-0)
29日(日)	vs 西部台千葉(0-3)

飯能サッカーフェスティバルは、飯能南高校と飯能ブルーダーが毎年開催している大会ですが、ブルーダーユースの佐藤さんよりお誘いいただき、貴重な機会を得ることができました。

やや遠方で電車賃もかなりかかってしまったこと、月半ばに参戦が決定したことから予定が合わなかったメンバーもいたことなどから、この連戦はかなりきつかったようです。

最終日にはかなりの怪我人も出ており(筋肉痛も含め)3年生の助っ人も加わる中での試合となりましたが、とても貴重な経験となったことと思います。

ご苦労さまでした。と、みんな一所懸命参加しましたので、**保護者の皆様 交通費の援助のほどよろしくお願ひします。お小遣いちょっとだけ増やしてあげてください(^ ^)!**

【サッカークリニックに載りました】

vol.23で予告しましたとおり、12/3発売のサッカークリニックに浦和SCサッカー広場の特集が掲載されました。さすが、物書きの方！うまくまとめていると思います。ちょっと恥ずかしくなるくらいで、記事に負けないように、いっそう頑張らなければ・・・と思える内容でした。

来月号(1/4発売)に、JYとYの様子が掲載されるようです。

なお、先月号の記事のコピーが欲しい方は事務局までお声をおかけください。

そうそう、先月号ですぐ傍に掲載されていたアジアFCの取り組みも素晴らしいものでした。アジアFCコースには、毎年コテンパンにやられており(先日の飯能でもそうでした)クラブ全体の活動もそうですし、コースのチームとしても一つの目標になるものかと思えます。

県内の飯能ブルーダー、ユースリーグで度々顔をあわせるアジアFCと、よい目標にしていきたいと思えます。

【4級審判講習会 浦和地区 1月26日】

さいたま市浦和地区の4級審判講習会が1月26日に予定されています。

このところ、各年代の大会時の審判の手配に四苦八苦しています。また、練習試合などでも会員が線審を行った場合にかなりいい加減なジャッジもしばしば見受けられることもあります。なるべく多くの会員の方に基本的なルールを理解を進めてほしいと思いますので、ご都合のつく方はぜひ参加して資格取得してください。

試合中に審判に文句を言う前に、自分でもしっかりルールを覚えましょう！

また、自分が試合に出たければ、自分が審判をやるようにもして、お互いに助け合えるようにしていきましょう。

【冬季のコンディショニング】

例年よりも冷え込みが厳しいように感じますが、県協会HP医事委員会記事より冬季の体調管理について記事を抜粋して紹介します。

特に、JY、Yなどは試合の時などに十分な防寒対策をしないままの者が何人もいますが、やせ我慢は何の得にもなりません。力を十分に発揮するためにも体調管理には十分な配慮をしてほしいものです。
~以下 県協会HPより抜粋~

県中央近辺では熱いときに比べて、寒いときは比較的トラブルは生じにくいといえます。しかし、冬場に寒い地方で試合することもあり、注意することも必要です。

まず、戸外で問題なのは気温だけではなく、風が軽視できません。風が強くなるほど、身体が感じる寒さも増加します。寒いと感じるのは、皮膚にある寒さ専用の感覚器が働くからです。寒さに最も敏感な皮膚感覚器を備えているのは指、耳、足指です。気温が下がっても、厚いウールの帽子、ミトン、厚いソックス、防水加工のシューズを身につけていれば、寒さは実際の気温ほどひどく感じないものです。

寒さに対する衣服

気温が0度以下になると、身体が失う熱の40%以上は頭部から逃げていきます。冬の寒い日にはウールの帽子を耳までおろし、首が隠れるようにかぶることが保温に有効です。

しかし、これは試合中にはできません。指はミトンの方が1つの袋の中で指同士が暖め合うので、普通の手袋よりも有効です。さらに寒さがひどいと指、耳、足指をおおうだけでは不十分で、身体自体の保温が必要になります。衣服は身体を暖める働きはなく、身体が作り出した熱を保存するだけです。外側に着る衣服は重い必要は全くなく、断熱性は衣服の厚みによって決まります。衣服を何枚も重ね着した方が、空気が衣服と衣服の間のすき間に閉じ込められます。空気は断熱性において非常に優れています。外側に着るのに最も適しているのは、風と雨を防ぐもので、裏から湯き、濡れた場合にも断熱性にすぐれたポリプロピレンとウールです。風を遮断するために織り目がよく詰まったものがより適しています。

これらは、両方とも内側に着るものとしても優れています。皮膚から汗を吸い取り、そうしながら保温の働きをします。理想的な外側と内側の衣服の違いは生地の織り方で、内側の生地は身体から汗を吸い取るために目がゆるいものが、外側の生地は風を通さないために目が詰まったものが適切です。

冬の寒い日で雨が降ったりするとシューズの中まで濡れてしまい、凍傷のような状態を起こすことがあります。皮膚は非常な寒さにさらされると、熱を保持しようと皮膚の血管を収縮させ、皮膚体温は低下します。こういった場合の多くは40前後のお湯につけて暖めるようにします。それよりも低い温度の水だと皮膚が暖められるのに時間がかかり、細胞が破壊される可能性が高くなります。できればそのあと水気をしっかり取って乾燥させることが大事です。(以上)

浦和SCニュースは、クラブ内の情報交換を図ることを目指して発行しています。

外部へのPRにもどんどん利用してください。必要があれば部数をお送りします。事務局までご連絡ください。

発行は不定期になることをご了承ください。